

平成22年度 神戸電鉄粟生線 地域公共交通活性化・再生総合事業計画 (案)

	連携計画の 方針・事業番号	平成22年度事業計画のメニュー	事業の概要	実施済・ 実施計画中 のもの	具体施策
1	方針1-①	企画きっぷの充実と効果的なPR活動	企画きっぷの認知度が低いことから、新聞広告や新聞折込チラシを活用した効果的なPRを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを図る。	○	沿線イベントのPRやおでかけガイドと併せて実施
2			企画きっぷ販売拠点の充実を図り、サービス改善による潜在的な利用者の掘り起こしを図る。	○	企画きっぷ販売機(緑が丘、三木市、小野市)の設置(11月予定)
3			沿線イベントと連携した企画きっぷを発売し、新規利用者の誘致を図る。	○	金物まつり1DAYチケット発売(10月)
4	方針1-②	割引制度等の充実	新たな割引きっぷを発売し新規利用者の誘致を図る。	○	高齢者利用誘発のためのシニアパス発行(10月)
5	方針1-④	マナー向上に係る広報 (接客サービスの向上)	ご利用・ご乗車マナー向上啓発をテーマとする車内吊ポスターをシリーズ化して掲出し、快適な駅・車内空間の提供を図る。	○	しんちゃん・てつくんを活用したマナー啓発ポスターを掲出(11月～)
6	方針1-⑤	駅周辺の待合環境整備 (夜間照明増設)	無人駅で駅前周辺が暗い箇所へ夜間照明を増設し、駅前の明るい空間を創出してイメージアップを図り、女性や子供の利用者や、その送迎者にも快適に利用できる駅待合環境を整備する。		
7		車両関連施設整備 (イベント列車用車内放送装置改良)	沿線高校生の提案を参考に、列車内で音楽を流す装置を整備し、イベント列車等へ活用して、車内の快適性、話題性を向上を図る。		
8	方針2-①	パークアンドライド促進	小野駅前に時間貸駐車場を整備し、より多くの自動車アクセスによる鉄道利用者を確保し、潜在需要の掘り起こしと、現行の駅勢圏の拡大による粟生線の利用者増を図る。月極P&R駐車場の増設も検討。	○	小野駅P&R駐車場の増設 時間貸し(10月～) 月極増設(計画中)
9		サイクルアンドライド促進	駐輪場に屋根を設置して、自転車等で来駅する周辺地域からの利用者の利便性向上による利用促進を図る。		
10		鉄道サービスに関する情報提供 (駅・運行情報の提供)	粟生線各駅の発車時刻に加えて、目的駅到着時刻や沿線施設案内を表示した時刻表を作成・配布し、鉄道の定時性の強みを活かした情報発信を行う。 また、駐車場、駐輪場、バス・タクシー乗場や、公共施設、商業施設等の周辺施設に関する案内板を設置する。	○	「おでかけガイド」に全列車の発着時刻掲載(8月) 駐車場、駅周辺施設、観光施設案内板の設置の検討
11	方針2-②	接続バス情報の提供	駅と周辺施設や住宅地を結ぶアクセスバス路線について、路線図や時刻表等の情報の掲示板を設置して、バスと鉄道の一貫した輸送サービスの提供を図る。	△	粟生線利用促進マップの中で検討
12	方針3-②	小・中学校校外学習利用促進	粟生線の校外学習素材を神戸市域の小・中学校にPRするパンフレットを制作・配布するほか、粟生駅周辺での農業体験校外学習プラン(田植え、稲刈り等)を企画・実施し、学校団体の利用誘致と公共交通利用啓発を図る。(6/4～15:8校・約660人参加、10/6～29:10校・約800人参加)	○	農業体験校外学習の誘致
13	方針3-③	沿線イベントへの公共交通利用促進 (沿線イベントへの旅客誘致)	粟生線沿線の集客イベント(「三木金物まつり」<11月>、「小野まつり」<8月>等)を中心に、公共交通利用を促すPRや新規企画きっぷの発売等を行うほか、イベント会場で利用促進PRキャンペーンを行う(「しんちゃん」着ぐるみ製作)。また、粟生線を中心とするスタンプラリー(夏休み、秋行楽期)を拡大実施し、域外のイベントや沿線施設との相互送客を促進する。	○	・協議会だより発行等によるPR ・三木金物まつりでのPRイベント ・スタンプラリーの拡大実施(夏・秋) ・活性化1周年記念イベントの検討

	連携計画の方針・事業番号	平成22年度事業計画のメニュー	事業の概要	実施済・実施計画のもの	具体施策
14	方針3-④	沿線観光に関する情報提供 (観光パンフレット制作)	粟生線沿線の社寺仏閣や公園・温泉・文化施設等の観光資源の魅力を伝えるとともに、併せて、企画きっぷやダイヤ情報などを掲載したパンフレットを制作し、観光利用者の増加を図る。	○	小野市観光広告看板(西鈴蘭台)掲出
15	方針3-⑤	沿線の景観・名所づくり	沿線を花や緑で植栽する「粟生線フラワーライン計画」の一環として、3月に桜を植樹した見津車庫において、さらにひまわりやコスモスの生育や桜の増殖を行い、花の名所として整備を進め、周辺地域からの旅客誘致を図る。	○	・葉多駅周辺の菜の花畑植栽 ・木津付近の桜植栽 ・駅植栽による美観向上の検討
16	方針3-⑥	鉄道関連イベントの開催 (利用者交流イベントの開催)	『トレインフェスティバル』(10月)での利用促進イベントや、『ミステリートレイン』(8月、3月予定)などの粟生線方面へのイベント列車(7/3～19:七夕列車、7月:ライプトレイン、9月:ギャラリートレイン等)を新規に実施するほか、粟生線活性化キャラクターで装飾したキャラクター列車出発式(5/22)を実施し、新規利用者の開拓と粟生線利用の啓発を図る。	○	トレインフェスティバルおよび各種イベント列車の運行
17		イベント用列車装飾	列車側面に粟生線沿線の観光資源等を描写し、沿線内外の来訪客にPRして周辺および他地域からの利用促進を図る。		
18	方針3-⑦	営業情報の提供 (運行情報・沿線情報の発信)	粟生線沿線や神戸方面等のおでかけスポットや企画きっぷ等の情報を盛り込んだ「おでかけガイド」を制作・配布(8月)し、新規利用の誘発を図る。また、ホームページを通じて、域外を含む、より広域からの旅客誘致を図る(6月リニューアル)。	○	「おでかけガイド」作成。戸別配布他
19	方針4-① 方針4-③	沿線企業・学校・自治体・住民への モビリティマネジメント	小野市、三木市、神戸市西区住民・転入者への公共交通利用情報の提供や、粟生線沿線の学校・企業・自治体職員・地域住民に公共交通利用をPRするパンフレットの提供等により、公共交通利用行動を喚起する。	△	住民・転入者に対する公共交通の利用者動機付けパンフレット(粟生線利用促進マップ)の作成・配布
20	方針4-②	キャラクターを活用した 公共交通利用啓発PR	粟生線活性化キャラクター『しんちゃん』『てつくん』を駅や車両に掲出したり(5/22～キャラクター列車運行)、キャラクターデザインを表示した利用啓発グッズを制作して各種PRキャンペーンの際に配布し、沿線住民の粟生線活性化への理解と利用促進を図る。	○	キャラクター列車運行・出発式開催 キャラクターPRポスター・シール・着ぐるみによる啓発PR 駅広告看板掲出の検討(新開地駅等)
21	方針6-①	利用者参加による 公共交通利用啓発活動	沿線利用者参加によるボランティア活動(駅美化、植栽、利用啓発PR等)を支援するため、活動のための備品(プランター、清掃用具等)やスタッフジャンパー、利用啓発グッズを製作し、沿線地域のマイルール意識の向上と利用促進を図る。	△	利用啓発ティッシュ製作・配布 駅前花壇整備の検討
22	方針6-②	駅スペースを活用した 沿線観光案内所設置	小野駅ビルに観光案内所を設置して、粟生線沿線(小野市・三木市・神戸市)や加古川線・北条鉄道線とも連携した観光案内を充実させ、駅の情報発信拠点として沿線外からの旅客誘致を図る。		

(注1) 表中の△は実施予定(検討中を含む)を示す。

(注2) 上記事業計画の現時点での事業費見込みは年間約52百万円。(～10月:約27百万円)

(注3) 上記事業による利用者増加への影響は年間推定約5万2千人。(～10月:約2万6千人)

※ 上記の活性化・再生総合事業の実施・運営については、神戸電鉄の設備や敷地を利用すること、神戸電鉄が従来から行っている事業との整合を図る必要があること、各事業間での調整・連携のため統一的な管理・運営が必要であること等の理由から、原則として協議会から神戸電鉄へ委託するものとします。

※ 上記の事業計画について、事業の実効性の高いものの前倒しや関係先との調整状況により、実施時期や事業の詳細内容について、連携計画の枠組みの中で、見直しを行う場合があります。